

# 岐阜県 難聴児支援センターだより

Vol. 11

令和6年2月



## ● 岐阜地域ファミリーセミナー 令和5年11月2日 ●

■ 岐阜大学医学部附属病院 多目的ホール 9:30~11:00

講話 テーマ: 乳幼児教室について

講師: 岐阜県立岐阜聾学校 教諭 福井智恵先生

岐阜県には、乳幼児期の難聴のお子さんへの専門の療育機関としてみやこ園、専門の教育機関として岐阜聾学校の乳幼児相談、幼稚部があります。今回は岐阜聾学校の乳幼児相談の乳幼児教室について、講話をいただくために、福井智恵先生をお招きしました。岐阜県立岐阜聾学校は、県内唯一の聴覚障害教育を行う特別支援学校です。年齢の違うお子さん達が学んだり生活したりするのを身近で見ることができ、難聴の先生方もいらっしゃるの、様々な年齢のロールモデルがいることも特徴です。また、教育の先々を見越した支援の継続性や先輩達やその保護者の方々とのつながりもあります。

乳幼児教室のねらいは、3つあります。「一人一人に応じた、きこえとことばの力、人と関わる力を育てる」「愛情や信頼に基づいた親子関係を育てる」「保護者の子どもに関する理解、子どもとの適切な関わり方を促す」です。週1回の個別相談(90分)と週1回の学年別グループ活動(120分)があります。いずれも遊びを通した親子活動や保護者懇談に取り組みながら、保護者の方に聴覚障がいのあるわが子への適切な関わりや配慮を積み重ねていけるように学んでいただく場を設定しています。「夏のお楽しみ会」等の行事もあります。また、幼稚部保護者との合同学習会もあります。乳幼児教室の講話の後は、座談会を行い、保護者の方からの質問に対して、別の先輩保護者の方が、ご自身の経験を話されてアドバイスされる様子がありました。

当センターと岐阜聾学校、乳幼児教室の先生方とが連携を取り合っており、森林支援員が岐阜聾学校に訪問して相談したり、岐阜聾学校の先生方が当院での聴力検査やマッピングの様子を見に来られたりしているので、これからも連携を図っていききたいと思います。



## ● 片耳がきこえにくい子のセミナー 令和5年12月10日 ●

■ 岐阜大学医学部附属病院 多目的ホール 9:30~11:00

講話 テーマ: 一側性難聴について 講師: 松波総合病院 耳鼻咽喉科医師 小川博史先生

今回の片耳がきこえにくい子のセミナーの参加者は、会場38名、オンライン9名でした。お子さん、ご家族の方、学校の先生、教育事務所の方も参加いただきました。小川博史先生の講話では、耳鼻咽喉科医師の立場から一側性難聴に関わる分かりやすい説明と、一側性難聴当事者であるご経験からの身近で寄り添ったお話を聞くことができました。お子さん達からも、「分かりやすい説明をありがとうございます。」との感想があがっていました。

交流会では参加者を2つのグループに分け(①0歳~年長児、②小学生~高校生)交流をしました。グループ①では、入園時に関わる配慮の話題、就園先の悩み、ことばの発達について等、多くの話が保護者の方から出て、時間が足りないほどでした。グループ②では、小学生~高校生の9名のお子さん中心に自己紹介をしたり、きこえに関する「あるあるゲーム」をしました。お子さん達の交流の様子を見ていた小川博史先生からは、「年齢が上がるにつれて、自覚することができてくるのが、お子さん達の様子を見て分かった。困っていることの区別がついてきて、それはやはり、ライフステージによって変わってくる。」との助言をいただきました。セミナー後のアンケートでは「想像するしかなかった子どものきこえの状態を理解することができました。」「(他の人に)何回か聞いて分からないときはきこえたふりをしている人が自分だけでなく、多くの人がしていると聞いてびっくりしました。お話を聞いて良かったです。」「年齢が上の子の話や様子を知らなくて良かった。」「(集まってみて)片耳がきこえにくい子がいるんだと心強く感じた。」等、参加して良かったとの声が聞かれました。参加者の皆さんのおかげで、有意義な講話、交流会をもつことができました。



# ファミリーセミナーのご案内

要予約

## 東濃地域ファミリーセミナー

日時	令和6年2月8日(木) 13:30~15:00
場所	土岐市保健センター
講話 テーマ	「東濃地域における 難聴児支援について」
講師	岐阜県立恵那特別支援学校 教諭 梅村 美奈子 先生

## 飛騨地域ファミリーセミナー

日時	令和6年2月22日(木) 13:30~15:00
場所	星雲会館(萩原中央公民館)2階 西風の間
講話 テーマ	「岐阜県難聴児支援センターが 関わる早期支援について」
講師	岐阜県難聴児支援センター 森林 隆介 支援員

\*両セミナーとも、座談会、希望者への相談があります。

## 岐阜大学医学部附属病院 難聴児支援センター・ご利用案内

ご利用方法

■きこえの相談窓口【月~金 10:00~16:00】

メール、FAXでの相談は随時  
対応させていただきます。(無料)  
LINEでもご相談いただけます。▶



■「きこえの相談日」は毎週火曜日 10:00~16:00

事前にセンターまでご連絡をお願いします。(無料)  
センタースタッフが対応いたします。

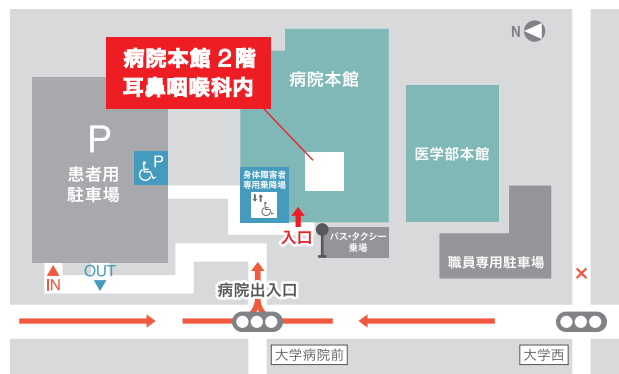
## 岐阜大学医学部附属病院 難聴児支援センターの場所

岐阜大学医学部附属病院本館2階  
耳鼻咽喉科内



※お越しの際は、岐阜大学医学部附属病院本館1階総合受付にお声掛けください。

※急なご来院の際、相談室にスタッフが不在の場合は、外線等で難聴児支援センター事務室にご連絡ください。  
電話番号 058-230-6198



## 交通アクセス・病院へのアクセス



### ●鉄道

【JR】  
東海道本線「岐阜駅」で下車  
【名古屋鉄道】  
名鉄本線「名鉄岐阜駅」で下車

### ●バス

JR岐阜	岐阜大学・病院線 / 約30分
名鉄岐阜	直行便 清流ライナー / 約25分
	岐南町線 / 約40分

岐阜大学  
病院下車  
料金  
(360円)

発行：岐阜大学医学部附属病院

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1  
TEL 058-230-6198 FAX 058-230-6199

<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/origin/gifu-deaf-center/>  
E-mail: g\_nantyo@t.gifu-u.ac.jp